

HellermannTyton

ヘラマンタイトン株式会社 ヘラマンタイトン株式会社 様

CMSを導入しコーポレートサイトを刷新。 グローバル・ブランドに基づいたデザインの統一化と 膨大な製品情報のスピーディな更新、サイト運用の効率化を実現

国内のケーブル・マネジメント業界で高いシェアを誇り、グローバル企業 HellermannTyton(ヘラマンタイトン)グループの一員であるヘラマンタイトン株式会社では、Webサイトの刷新に取り組んでいた。目的は本社ガイドラインに準拠したWebデザインの統一と運用面の改善である。さまざまなソリューションを比較・検討した結果、導入したのがCMS「SITE PUBLIS」だ。

課題

- 本社ガイドラインに対応した、サイトデザインの統一を図りたい
- 1ページ1ページをファイル管理していたために、ページのメンテナンス負担が増大
- 更新のたびに専任担当者へ作業を依頼し、多大な手間と時間がかかっていた

解決

- ブロックを組み合わせたテンプレートを策定し、容易にデザインの統一を実現
- ブロック型編集機能で、複数ページに掲載される共通情報を一元管理
- 更新作業を属人化させず、チーム作業による運用体制を構築



User Profile

ヘラマンタイトン株式会社

所在地 〒151-0073
東京都渋谷区笹塚1-48-3
住友不動産笹塚太陽ビル6F

会社概要 電気、電子および情報通信用配線部材の製造、販売、研究開発、輸出入等。

従業員数 285名(2016年1月現在)

導入時期 2016年1月

URL <http://www.hellermannntyton.co.jp>

1970年設立。結束バンド「インシュロック」を中心としたケーブル・マネジメント製品群を製造販売する。国内に自社工場を持ち、材料研究、金型製造、設計、成型、品質管理、出荷までワンストップで行う工場を兵庫県宍粟郡に持つ。一貫生産ができる工場を持つ唯一の結束バンド製造メーカーであり、結束バンドメーカーでのシェアはNo.1。



サイトリニューアルに伴い、 サイト運用を効率化するCMSを導入

「束ねる、固定する、整える、表示する」用途に使う結束バンドなどを製造販売するヘラマンタイトンは、ケーブル・マネジメント業界をリードするグローバルカンパニーである。日本でも高いシェアを持つ同社は、国内に自社工場を持つ強みを生かして、「ユーザーニーズに合わせた、きめ細かい設計ができるのは当社のみ」と、マーケティング部 シニアマネージャーの岩城 慶子氏は語る。

同社が取り組んでいたのは、国内向けのWebサイトのリニューアルだった。デザインについては、海外のヘラマンタイトン本社から、「グローバルで統一したい」という指示が届いていた。本社の示すガイドラインに沿ったページ構成やトーン&マナーに準拠する必要があったのである。

また従来は、マーケティング部のスタッフがWebオーサリングツールを用いて1ページ1ページ作成していたが、各ページを個別に作成していたために、運用面にも課題があった。岩城氏は「ニーズに合わせてページを増やした結果、同じ製品の情報でもデザインのばらつきがある。ページが多すぎてメンテナンスに手間と時間がかかりすぎる。Webオーサリングツールの操作が難しく、スキルを持った担当者しか作業できない。モバイル対応ができない」と、改善の必要性を強く感じていた。

サイトリニューアルを実施するにあたって2016年に導入したのが、「SITE PUBLIS」だっ

た。他社製品も含めて比較検討した岩城氏は「ブロック単位で編集可能」「複数スタッフで共同作業できる」「スマートフォン向けの表示が可能」「フォームからの問い合わせなどをCRMに自動転送可能」「技術力の高さ」を評価し、SITE PUBLISを採用した。

ブロック型編集で情報やデザインの 統一が容易に。個人作業から、 複数スタッフによる共同運用へ

多くの企業がページ作成を外注しているのに対し、同社は内製を行っている。その理由を岩城氏は「自社製品について一番知っているのは社内の人間です。自分たちでWebページを作るのが早いし確実」と説明し、「HTMLに詳しくないスタッフでも、SITE PUBLISなら簡単に作れます」と続けた。SITE PUBLIS移行に際しサイト・パブリス社は、ブロックを組み合わせた数種類のデザインテンプレートを策定した。このテンプレートをベースに、文章や画像などを配置するだけでページができあがるので、デザイン統一、作業効率向上が実現できた。マーケティング部のスタッフが他の業務と兼ねながらでも、400を超えていた既存ページを約4か月という期間で移行も終えられた。「外注すると説明や確認のやり取りに時間もかかりますが、内製であれば短期間で作成できます。私には外注する理由が分からないくらいです」(岩城氏)

SITE PUBLISが持つブロック単位での編集機能は、1400品目もの製品情報を効率よく管理する点でも役立った。「以前は1ページ追加すると、関連するページの情報もすべて修正する必要があったのですが、今は一度に全部変更でき、運用が非常に楽になりました」(岩城氏)

更新サイクルも短縮された。Webオーサリングツールを用いていた時代は、作成から更新に最低でも1週間程度要していた。「従来はHTMLに詳しいスタッフの作業だったWebページ作成が、SITE PUBLISによって誰でも使えるようになったため、チーム作業に変わりました。

途中段階でも互いの作業内容、進捗も把握でき、アップロードも一瞬です。ページに掲載する情報が用意されているなら、早ければ翌日に公開できるくらいです」(岩城氏)

また、Web担当者との紙の総合カタログ担当者がSITE PUBLIS上で同時に編集できるため、それぞれが連携しながら情報を更新することも可能になった。これも、情報の正確さに寄与している。

ページ閲覧時間増加、直帰率低下。 営業部門からも高い評価

総合カタログ同等の情報発信ツールでもあるWebサイトのリニューアルは、営業部門や顧客からも評価が高い。例えば、営業部門は顧客と電話する際、サイト画面を見ながら商談することがあるが、情報が見やすくなったため「電話越しのやり取りもスムーズになった」といった声も聞くという。アクセスログからは「ページに滞在する時間が長くなった」「直帰率が減った」という効果も見えてきた。

SITE PUBLISは、継続的なサイト改善にも役立っている。例えば、サイト内検索でキーワードが完全一致していないとヒット件数がゼロ件になってしまい機会損失を生んでいたが、サイト・パブリス社が開発したゆらぎ検索に対応したプラグインを実装することにより、検索漏れをなくすことができた。ほかにも動画サムネイルをクリックするとポップアップ表示にする、新着情報の見せ方を変えるなど、さまざまな修正を加えている。「新しい課題が見つかるたびに相談すると、サイト・パブリス社は随時改善案をすぐに提案してくれます」(岩城氏)

岩城氏は「サイト・パブリス社は期待以上のソリューションを提供してくれました。これからもSITE PUBLISのサポートにとどまらず、Webサイトの効果、ブランド力向上を、私たちと一緒に考えてくれるパートナーとして協力をお願いしたい」とサイト・パブリス社への高い評価を口にした。



SITE PUBLIS 株式会社サイト・パブリス

お問い合わせダイヤル	03-6812-7151 (東京本社)
PUBLIS製品サイト	http://www.sitepublis.net/
お問い合わせメール	info@sitepublis.co.jp

東京支社 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-6 東京倶楽部ビルディング5F
TEL: 03-6812-7151 FAX: 03-6812-7152

福岡オフィス 〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町2-35 プレスト博多祇園ビル2F
TEL: 092-409-2464 FAX: 092-409-2474

関西オフィス 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町8-12 第3マイダビル605号
TEL: 06-4860-6739 FAX: 06-4860-6738